

びわ湖ニオーस्टリア・ ブルックナー管弦楽団{BABO} 第1回演奏会

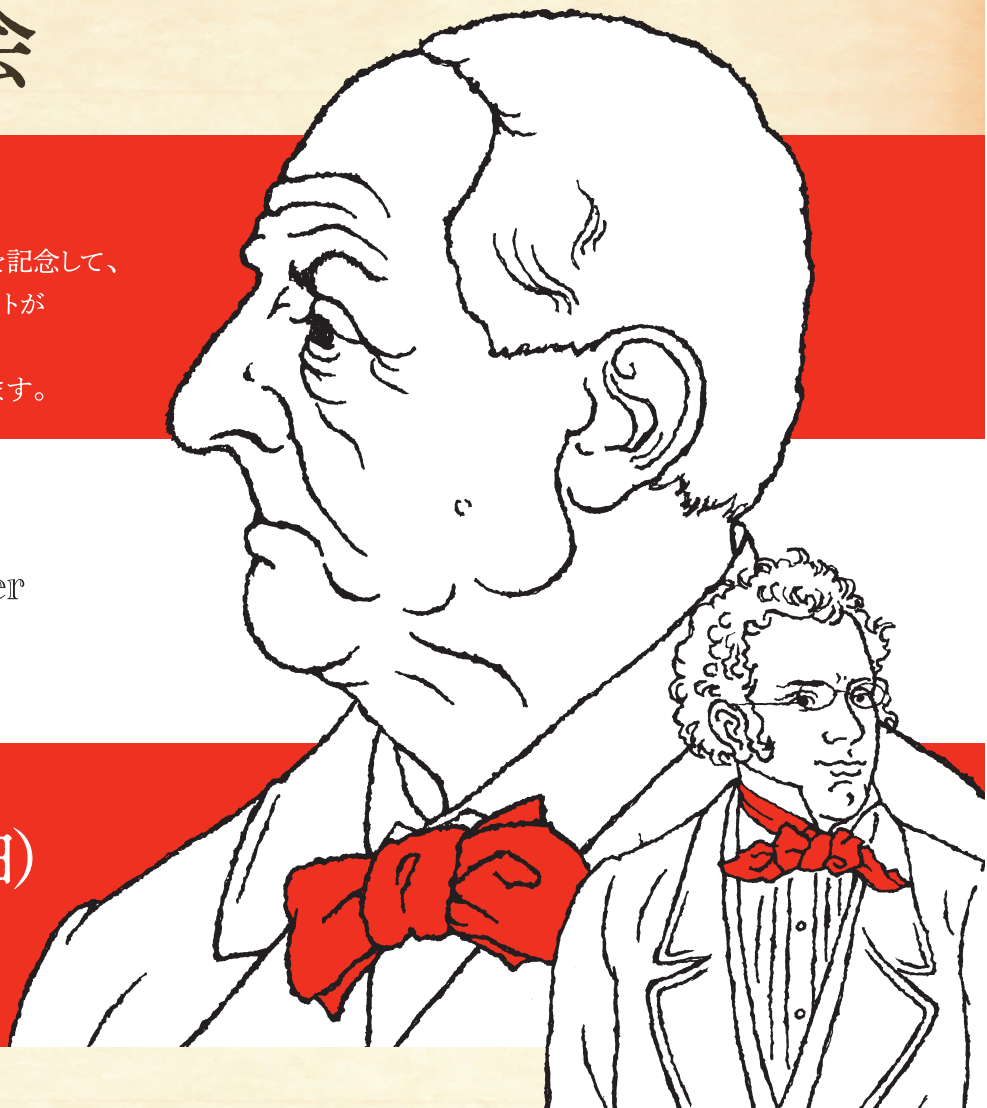
BABO誕生!

2024年9月、アントン・ブルックナーの生誕200年を記念して、
アマチュアオーケストラの新たなプロジェクトが
琵琶湖のほとり、響きの良さで知られる
栗東芸術文化会館さきらを中心に始動します。



2024.9/15(日)

●13:30開場 ●14:00開演
※開演前13:45にプレトークあり



会場

栗東芸術文化会館さきら大ホール

●JR栗東駅(JR京都駅より約25分)徒歩5分、駐車場完備(有料)

指揮

宅間 司(音楽監督)

曲目

シューベルト／イタリア風序曲第1番ニ長調 D.590

ブルックナー／交響曲第5番変ロ長調 WAB.105《原典版》

主催／びわ湖ニオーस्टリア・ブルックナー管弦楽団、公益財団法人日本交響楽振興財団 共催／栗東芸術文化会館さきら

後援／滋賀県、滋賀県教育委員会、栗東市、栗東市教育委員会、駐日オーストリア大使館観光部／オーストリア政府観光局、しがぎん経済文化センター



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>

B A B O 誕生!

iwako ustria ruckner rchestra

2024年9月、アントン・ブルックナーの生誕200年を記念して、新たなプロジェクトが琵琶湖のほとり、響きの良さで全国的に知られる栗東芸術文化会館さくらを中心に始動します。

コロナ禍の2021年7月のびわ湖の日にSNS上で、オーストリアの国の形と琵琶湖の形がそっくりだと話題になり、オーストリアと琵琶湖の新たなご縁が生まれました。

そのオーストリアを代表する作曲家であり、オルガン奏者でもあったブルックナー。

作品の根幹となるのがハーモニー（和音）です。ブルックナーが愛した美しいハーモニー（調和）を大切にしたいアマチュアオーケストラ、びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団（略称：BABO[バーボ]）が、ブルックナーの誕生月である9月に第1回演奏会を行います。

弦楽器のTOP奏者には関西を中心に活動する気鋭の若手プロ奏者がプリンシパル（首席）として音楽面でオーケストラをリードします。忙しい学生の方や、既にアマチュアオケで活動する方も考慮し、リハーサルは他の活動と重なりにくい日曜夜を中心に活動してきました。

会場となる栗東周辺には、琵琶湖の美しい景色が楽しめる湖岸道路があり、ラ・コリーナや八幡堀で知られる近江八幡、アウトレットモールの竜王など、観光やドライブも楽しめるスポットが多数あります。

ごあいさつ

ブルックナーは遅咲きの人。本格的に作曲家を志したのは30歳目前、初めての交響曲を書いたのは40歳を過ぎてから、やっとのことで作曲した交響曲は、演奏困難、長すぎるなど指揮者やオーケストラが演奏を拒否。弟子たちが勝手に曲の形を変えたり短くしたりされました。オルガン奏者としての腕は誰もが認めていただけに、その作品は全合奏（ユニゾン）が多く、独特のオーケストラ書法は大変魅力的ともいえますが、どこを聴いても同じようで退屈と感じる人がいることも事実です。気が小さいのに名誉欲は人一倍で、決まって自分より年の離れた若い女性に一方的に恋をするのも一つも実らなかったという残念な部分もたくさん。

これ、どこか滋賀県に似ていませんか？とても魅力的なのにちょっと残念なところ。歴史や文化は素晴らしいのに知られていないところ。滋賀とブルックナーが合うのではと考えたのはそんなことも理由にあります。

ブルックナー作品の特徴はオルガンのようなオーケストラと書きました。パイプオルガンは、実は一本一本音色が違うたくさんの管を組み合わせる一つの音楽を作ります。同様にオーケストラも管楽器や弦楽器、様々な楽器が組み合わさって、一つの音楽、ユニゾンを作っていきます。

これ、今の時代にこそ必要なことではありませんか？それぞれの個性を認めつつ、一つのものをみんなで一緒に作ること。

ブルックナーが生涯愛したオルガンとオーケストラサウンド。様々な個性を受け入れられる素晴らしい楽器が奏でる夢のようなハーモニーを、生物多様性の母なる湖・びわ湖を持つこの滋賀で皆さまと共有できれば、こんなに幸せなことはありません。

この演奏会の実現にご尽力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

音楽監督・指揮 宅間司

大阪府出身、滋賀県育ち。各地の指揮講習会（K.レーデル氏・佐藤功太郎ほか）で研鑽。教諭経験を生かした明快な指導に定評があり、東京・滋賀・大阪・神戸などのオーケストラ・吹奏楽・合唱団の指揮・指導をおこなっている。近年はクラシックコンサートの解説・司会者としても活躍。

しがぎん経済文化センタープロデューサー。



プリンシパル紹介



コンサートマスター 石川千尋

滋賀県出身。滋賀県立石山高校音楽科、相愛大学卒業。

これまでに PMF2013 等に参加。兵庫県立芸術文化センター管弦楽団 (PAC) コアメンバー、アソシエイトプレイヤーを経て、現在、関西のオーケストラを中心に演奏活動を行っている。2023～2024 大阪フィルハーモニー交響楽団契約団員。

さくらジュニアオーケストラアカデミー講師。



ファーストヴィオラー 吉田紘子

京都市立芸術大学を、音楽学部賞を得て卒業。これまでに中島美子、後藤維都江、木村和代、辻井淳の各氏に師事。大学卒業後より現在に至るまで関西の主要オーケストラへの客演ほか、ソロ・室内楽など活動は多方面に渡る。

弦楽カルテット「ドルチェ・ぷち」1stヴァイオリン奏者

京都・バッハ・ゾリステン メンバー



2ndヴァイオリン 岩本祐果

福井県小浜市出身。桐朋学園大学卒業。これまでにヴァイオリンを玉井洋子、鷺見健彰の各氏に師事。福井県音楽コンクール知事賞受賞。大阪国際音楽コンクール入選。

アフィニス夏の音楽祭 2015 広島参加。2010 年～ 2019 年京都フィルハーモニー室内合奏団ヴァイオリン奏者。現在は関西を中心に、オーケストラや室内楽など様々な演奏会に出演している。



ヴィオラ 岡本名那子

京都市立芸術大学音楽学部卒業。相愛大学音楽専攻科卒業。

ヴィオラスペース、パリ・フガートマスタークラス、フレイヌ国際アカデミーなど国内外の講習会に参加し、ソロや室内楽のクラスを受講。

大阪フィルハーモニー交響楽団契約団員を経て、現在はオーケストラ、室内楽など幅広く演奏活動をおこなっている。



チェロ 城甲実子

京都市立芸術大学音楽学部卒業。ハンガリーのリスト音楽院に留学。上村昇、河野文昭、木村政雄、日野俊介、Onczay.C の各氏に師事。W.Boettcher、P.Muller、Mezo.L 氏らのマスタークラスを受講。KYOTO 弦楽四重奏団のメンバーとしてベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲を演奏するなど室内楽の分野でも活発に活動している。

全国各地のオーケストラで客演奏者を務める他、「さくらジュニアオーケストラ・アカデミー」講師として後進の指導にもあたっている。



コントラバス 山西葉月

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コースを卒業。これまでに石丸美佳、村田和幸、故 三宅康司の各氏に師事。2005～2015 年まで京都市ジュニアオーケストラ所属。Asian Youth Orchestra 2016、2017 メンバー。2017 年には同オーケストラのワールドツアーで世界各国の音楽祭に出演。2019 年 11 月には中国・四川交響楽団に客演。現在は関西の主要プロオーケストラの客演など、幅広いジャンルでフリーランス奏者として活動している。



ティンパニ 小野龍聖

奈良県橿原市出身。奈良県立高円（現高円芸術）高等学校音楽科卒業。相愛大学音楽学部卒業。学部在学中からこれまでの間相愛オーケストラ、相愛フィルハーモニアに参加し、オーケストラの研鑽を積む。第 11 回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル首席ティンパニ奏者。2022 年度相愛大学音楽学部卒業演奏会に出演。第 37 回関西打楽器新人演奏会にて星野賞受賞。協会より推薦を受け、全日本打楽器連盟主催新人演奏会に出演し、塚田賞（特別賞）受賞。現在、中谷満、畑中明香、宮本妥子各氏に師事。相愛大学大学院音楽研究科 2 年次在学中。

曲目紹介

□フランツ・シューベルト：イタリア風序曲（イタリアの様式による序曲）第1番 二長調 D590

Franz Schubert. Ouvertüre im italienischen Stile Nr. 1 in D-Dur, D. 590.

ウィーンの国立歌劇場や楽友協会の周辺を散策していると名だたる音楽家の記念パネルに出会います。そして当然ながらフランツ・シューベルトの名もそのなかにあります。しかし、シューベルトのものがひとときわ人の目を引くのは、生没年の横にある出生地、没地の記載——1797 Wien : 1828 Wien——です。ウィーンで生まれ育ち、ウィーンで活躍し、ウィーンで没した作曲家。そのような作曲家を他に見つけることはなかなか難しいでしょう。このことが、シューベルトがイタリアの様式で序曲を書いたことを説明するための最も重要な前提条件となります。

この作品はしばしば「イタリア風序曲」と呼ばれますが、正確には「イタリアの様式による im italienischen Stile」序曲です。「イタリア風序曲」といえば、17世紀後半から18世紀初頭のイタリアで、歌劇やオラトリオの冒頭に置かれた管弦楽曲を指します。そしてそれと同じ形式で書かれた管弦楽のための多楽章作品もこの名で呼ばれ、18世紀前半最大の作曲家ドメニコ・スカルラッティの父、アレッサンドロ・スカルラッティ（Alessandro Scarlatti, 1660 - 1725）らの作品で知られています。

一方で、シューベルトの作品のタイトルに書かれた「イタリアの様式」が意味しているのは、19世紀前半のウィーン音楽界を席巻していたジョアキーノ・ロッシーニ（Gioachino Rossini, 1792 - 1868）です。19世紀前半のウィーンにおいて最も偉大な作曲家はロッシーニだった、と言われると奇異な感じがするかもしれません。ウィーンは、少し遡ればフランツ・ヨーゼフ・ハイドンやヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトが活躍した街であり、ロッシーニとほぼ同時期にはルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンがこの街で活動していました。にもかかわらず、当時のウィーンでは、「ベートーヴェンよりロッシーニ」が一般的な見解であったようです。しかしこれはウィーンという街の気質を考えれば自然なことでしょう。アメリカの歴史家ウィリアム・ジョンストンは『ウィーン精神』という著作でウィーンの住民の気質のひとつを「陽気に芸術を楽しむ耽美主義」と説明しています。ニューイヤークンサートで演奏されるヨハン・シュトラウスのワルツを聴いてみてもこの感覚は体感できると思います。ロッシーニのように華やかで明るく快楽主義的な音楽が当時のウィーンの住民には好まれたのです。

そしてシューベルトも、当時のウィーン市民と同様、ロッシーニに非常に興味を持っていました。1817年頃、シューベルトは集中的にロッシーニ作品を研究しており、その影響は今回演奏する《イタリアの様式による序曲 第1番》にも表れています。シューベルトは、翌年に《交響曲第6番ハ長調 D589》を完成させており、序曲で実験されたロッシーニ様式が巨大な交響曲のなかに結実しています。そしてこれ以降のシューベルトの個人様式は大きな変化を遂げていくこととなるのです。その意味で、《イタリアの様式による序曲》は、シューベルトの創作史のなかで重要な意味をもった作品であったのです。

メディアで話題沸騰！
採算度外視のA5近江牛巻き贅沢の極
大好評販売中！！



認定『近江牛』指定店
お肉のおかだ
守山市播磨田町 56-6 077-598-5688



滋賀県大津市膳所池ノ内町755-1
tel: 070-1244-6563
fax: 077-526-7428



車と珈琲の新しいスタイル

登記・遺言・相続・成年後見・民事信託・家系図・債務整理
会社設立・定款変更・役員変更・議事録・契約書・許認可



かがり司法書士・行政書士事務所
〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2番1号セルバ守山3階
TEL 077-514-3010 / FAX 077-514-3011
ホームページ <http://www.kagari.biz/>
Eメール info@kagari.biz

Let's Design Your Life! 代表司法書士・行政書士 太田 智 真

税務相談初回無料
ぜひお気軽にご相談下さいませ。

所得税 法人税 に、関することなら
お任せ下さい！

お電話でのお問い合わせ
077-582-8148 受付時間 9:00-17:00(平日のみ)



林貞治税理士事務所

守山市岡町 261-1

□アントン・ブルックナー：交響曲第5番変ロ長調

Anton Bruckner. Symphonie Nr. 5 B-Dur.

19世紀のオーストリアで活躍した作曲家アントン・ブルックナーは、今年で生誕200年を迎えました。オーストリアやドイツでは連日連夜、各地でブルックナーの演奏会が開催されており、本屋に行けば一面がブルックナー関連著作に埋め尽くされているといった盛況ぶりです。そして今回演奏する《交響曲第5番》は、最も「ブルックナーらしさ」が表れている作品といわれ、彼の作品のなかでも演奏される機会が比較的多い人気作です。

では「ブルックナーらしさ」とは何でしょうか？オーストリアの片田舎に生まれた敬虔なカトリック教徒、オルガニスト、ヴァーグナーの影響を受け誇大妄想的な交響曲を書いた作曲家。その敬虔な響きは作曲者の信仰心の表明であり、とぎれとぎれに並べられる旋律や奇妙な転調は、田舎者の不器用さのあらわれである。そんなブルックナーのイメージは、長きにわたって繰り返され、それは作品の演奏にも大きな影響を与えてきました。しかしこうしたイメージには、多かれ少なかれ、後世に潤色されたものが含まれています。たとえばブルックナーが「敬虔な」カトリック教徒であったという説は、今ではほとんど否定されています。実際のブルックナーの信仰心の強さは当時としても一般的なレベルであったようです（1）。

また作品それ自体にも、ブルックナーの弟子による楽譜の改竄や後世の指揮者によって固定化された演奏慣例の影響は根強く残っており、作曲者の想定とはかけ離れたものになっています。そこで今回の演奏会では、最新の研究に基づき、これまで何となく繰り返されていたイメージと慣例からの脱却を試みています。たとえば、冒頭楽章では、第2主題のテンポを第1主題に比べて遅くするのがこれまで一般的な演奏でした。しかしこれは後世の指揮者が採用して一般的となった、ブルックナーの意図しない演奏であることがわかっています（2）。私たちは、CDやYouTubeなどで知らず知らずのうちにこうした慣習に慣れてしまっているため、演奏者や指揮者ですら作品の本来の姿を知らない、といったことがしばしばあります。そのため今回の演奏は、この作品を知っている方には奇異に聞こえる部分もあるかもしれませんが、作品の本来の姿を提示するという意味で画期的な試みになっているかと思います。

それでは楽曲内容について簡単に解説しようと思います。この作品は、4つの楽章からなり、対照的な性格を持った第2楽章（アダージョ）と第3楽章（スケルツォ）が、アレグロで書かれた第1楽章と第4楽章によって挟まれるというシンメトリー構造を成しています。

第1楽章 Introduktion. Adagio-Allegro (c. 20 min.)

形式：緩徐導入部付きのソナタ形式

導入部—提示部—展開部—再現部—コーダ

長大な作品はゆっくりとした導入部によって幕を開けます。この部分は、ルネサンス期の作曲家であるパレストリーナの様式を模倣したもので、教会での静謐な儀式的場面を想起させます。そしてそれに戦闘的なファンファーレと祝典的な金管コラールが続きます。このようになかなか分裂的な印象を与える導入部ですが、これは聴者の注意を引くために置かれた単なる「序奏」ではありません。この導入部は全楽章で展開されていく主要な素材を、極めて抽象的なかたちで提示する場となっており、ここで提示された諸要素はこの先の音楽でも繰り返し登場することになります。その後、壮大な音響によって導入部が閉じられると、この交響曲における最も重要な主題（第1主題）が登場します（譜例1）。

譜例1 冒頭楽章の第1主題



この主題はその旋律の中に半音階的な転調を備えたものとなっていて、純粋な響きというよりは複数の色の混ざったような抜けきらない特徴があります。「巡礼者の行進」のスタイルで書かれた第2主題と、木管楽器のユニゾンによる混合音色が特徴的な第3主題がそれに続き、音響的な頂点を迎えたところで提示部は閉じられます。

再びゆったりとしたテンポになったところから展開部がはじまり、主に第1主題の素材によって一通りの動機労作がおこなわれクライマックスを形成すると、最初に提示した3つの主題を再現するプロセスへと戻り、最終的には、主題の半音階要素は解決され、純粋な旋律と響きに昇華されます。

チカ守山

Produced by SHIDAX

駅から徒歩1分！

カラオケ・カフェ・キッズスペース・
パブリックスペース複合施設

シダックスチカ守山カルチャーコート

(カラオケ) ☎ 077-514-1253

チカカフェ ☎ 077-514-1244



Cafe & Bal
WAKO 和瑚

JR守山駅西口から徒歩7分のところに
“Cafe&Bal和瑚”をオープンしました！
ご来店を心よりお待ちしております。

☀ ランチタイム 11:00~15:00

🌙 ディナータイム 17:00~22:00

📄 cafebal-wako.com

📅 月曜日定休

※月曜が祝日の場合は、翌火曜日が定休日

📍 〒524-0041

滋賀県守山市勝部1丁目13-1

あまが池プラザ1F



第2楽章 Adagio. Sehr langsam. (c. 16 min.)

形式：[A1-B1(提示部)]-[A2-B2(展開部)]-[A3(再現部)]-コーダ

ブルックナーの緩徐楽章の通例どおり、2つの主題が交互に現れます。はじめA1部は、弦楽器のピチカートによる伴奏の上、オーボエが孤独に哀愁漂う旋律(第1主題)を提示することで始まります。続くB1部では、力強く感動的な楽想(第2主題)が弦楽器によって奏でられます。あふれんばかりの豊満な響きはみるみるうちに広がっていき、世界全体を飲み込んでいくかのようです。

A2-B2の部分では、6連符の装飾的なパッセージや新しい対位旋律が追加するなどの手法で楽想が発展させられます。A3の部分では、みたび第1主題が現れ、楽章の頂点に向けた昂揚の過程が始まると、延々と転調が繰り返され、バロック風の荘厳な音響はさらに拡大していきます。そしてモーツァルトの絶筆作品《レクイエム ニ短調 K.626》に由来する連鎖的な転調が音楽を最高潮へと導きます。その後、急速に減衰すると、はじめニ短調で提示されていたオーボエの旋律がニ長調で抑揚なく奏され、静かに曲が閉じられます。

第3楽章 Scherzo. Molto vivace (schnell)- Trio. Im gleichen Tempo. (c. 12 min.)

形式：スケルツォ-トリオ-スケルツォ

スケルツォ部分は2つの主題によるソナタ形式で書かれていて、息をつく間もないほど急速な第1主題と、オーストリアの農村地帯の舞曲レントラーの様式で書かれた第2主題によって構成されています。この楽章の田舎風の洗練されていない音楽は、第2楽章の宗教的な雰囲気とともに強烈な対照を成して、これら2つの中間楽章がつくりだす緊張状態は終楽章において解決されることとなります。

第4楽章 Finale. Adagio-Allegro moderato. (c. 22 min.)

形式：序奏付きのソナタ形式

序奏—提示部(3つの主題+コラール主題)—展開部—再現部—コーダ

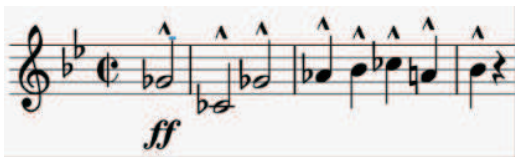
終楽章の序奏は、第1楽章の冒頭とほとんど同じパレストリーナ風の素朴な音楽ではじまります。しかし、よく注意して聴いてみると、第1楽章に比べ音楽が少し不安定であることに気づくでしょう。水面下の緊張状態が抑えきれなくなったところで音楽は突然立ち止まり、これまで第1楽章や第2楽章で登場した主題の回想がはじまります。これまでに出てきた全く異なる性格の主題を最終的に統合していく終楽章の壮大な道のりが始まります。

終楽章でも第1楽章と同様、3つの主題が提示され、第1主題は厳しい付点リズムによる行進曲風のフーガ、第2主題は軽快な舞曲と歌うような旋律、第3主題は嵐のような伴奏とむき出しのファンファーレによって構成されています。これら3つの提示が終わると、急速に音楽は静まり厳粛な雰囲気に包まれます。そしてここで4つ目の主題として、ルター派教会の讃美歌的な様式で書かれた金管コラールが登場します。

譜例2 終楽章の第1主題(行進曲風)



譜例3 コラール主題



コラール主題は続く展開部でフーガ的な扱いを受け、その過程がはじめの頂点に達すると第1主題(譜例2)とコラール主題(譜例3)は同時に鳴り響き、二重フーガを形成していきます。この二重フーガは、2つの主題の鏡像形を含んだあらゆる組み合わせによる結合可能性が探求され、高度に学術的な装いをもった実験の場となっています(3)。

展開部が終わると、主題が順に再現されるプロセスが始まりますが、第3主題の再現に入ったところで驚くべき出来事が起こります。第1楽章の第1主題(譜例1)がここで突如として乱入してくるのです。第1楽章の主題は第4楽章の主題と激しくぶつかり合いながらも、次第に解決への道を開いていき、最終的には、3つの主題が並行する交響曲史上で他に類を見ないほどに壮大で華やかな結尾を形成し、この荘厳で雄大な交響曲は幕を閉じます。

文責：岡本雄大(京都大学)

註釈

(1) Diergarten, Felix. Anton Bruckner. Ein Leben mit Musik. 2023. S. 22-23

(2) Cohrs, Benjamin-Gunnar. V. Symphonie B-Dur. Studienpartitur 3., revidierte Ausgabe. Vorgelegt von Leopold Nowak. Bd. 5. Anton Bruckner. Sämtliche Werke. 2005 [1951].

(3) 岡本雄大「アントン・ブルックナーの《交響曲第5番》におけるフーガの役割——楽曲結尾のコラールとの関係において」、第74回美学会全国大会 若手研究者フォーラム発表報告集、2024年、89-98頁。

水もれ・つまり・水まわり

他社さんより高かったら怒って下さい!!

●トイレ・浴室・洗面・台所・各配管のつまりや水もれ ●配水管の清掃 ●水栓器具取付
●ウォシュレット・給湯器・洗面台・ユニットバス ●水道工事全般 ●漏水調査

0120-19-9977 見積り・出張費無料!
作業前に必ず料金提示!
作業は必要最小限!

ライフホームメンテナンス滋賀
本店：守山市岡町 115-21 / 草津営業所：草津市西渋川 11-17-55



自動制御・空調・電気の総合システムエンジニアリング企業

TOTAL AUTO MATION



マルイチエンジニアリング株式会社

本社：滋賀県守山市下之郷 2 丁目 5-18

大阪支社・京都営業所・東京営業所

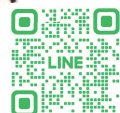


1 回だけのご利用も OK !

守山市阿村町 212-1 (さきらより徒歩 15 分)



守山市荒見町 219-15 TEL : 077-574-8853



FUGA 株式会社風雅

服部工業株式会社

株式会社スケール

ブルックナーさんと同世代 (1832 年創業) の雑貨店

朝日屋セトモノ店

電話 077(582)2897

滋賀県守山市守山 2 丁目 10-4

豊富に取り揃える日用雑貨品は楽天市場店や
Yahoo! ショップでも販売しています



樋上税理士事務所

滋賀県守山市吉身 3 丁目 11-15 南ビル 2-A 号

TEL.077-582-7812

初回相談無料!

明朗な料金設定であなたの経営を支援します



空調・給排水・省エネ・リニューアル・設計・施工
守山市指定上下水道工事店



株式会社 田中水道

滋賀県守山市播磨田町 1240

お問い合わせ・ご相談は ☎077-583-2074



社会保険労務士・行政書士
いしべたろう事務所

初回相談無料、WEB 面談 OK

☎077-584-4012



滋賀県守山市勝部 1 丁目 2 番 6 号 駅前橋本ビル 3B

ペットのおやつ専門店

Wanfood BULAN



守山市浮気町 341-2

(守山浮気郵便局横、共同 P 有)

11:00 ~ 18:00 木曜定休



ポンプ・工業用空調機販売・修繕

滋賀ポンプ
株式会社

守山市古高町 780-13

TEL : 077-583-7082

BABO Members

Conductor
指揮者・音楽監督

宅間 司

Concert Master
コンサートマスター

石川 千尋

Violin 1st
1stヴァイオリン

★石川 千尋
★吉田 紘子
伊吹 萌
大谷 日菜里
奥谷 唯水
川人 槇子
桐谷 明日香
※木下 真希
※中谷 葉子
※山崎 未南

Violin 2nd
2ndヴァイオリン

★岩本 祐果
岡田 和也
北澤 田鶴子
木村 保威
久保田 優衣
小西 ちひろ
※久津那 綾香
※田川 佐麻里
※宮下 和子

Viola
ヴィオラ

★岡本 名那子
鈴木 信之介
吉岡 章
※井上 智子
※清水 豊美
※堤 里美子

Violoncello
チェロ

★城甲 実子
岡本 雄大
日下部 雅彦
高久 紗詠
吉田 理浩
※大橋 友子

Contrabass
コントラバス

★山西 葉月
大西 歩栞
田島 堂弘
※デピューリー 雪乃

Flute
フルート

石田 浩一
★石田 美知世
大上 裕司
本田 めぐみ

Oboe
オーボエ

林 真生
★本多 麻子

Clarinet
クラリネット

門井 裕美
北山 紗恵子
★関位 香織

Fagotto
ファゴット

☆本多 勝
※三木 秀彦

Horn
ホルン

阿閉 裕章
大石 妙枝
田村 寿哉
平塚 俊史
深田 初
☆水崎 征博

Trumpet
トランペット

今井 香織
☆今井 良雄
竹之内 菜緒
山田 円

Trombone
トロンボーン

小笠原 詩編
小澤 明弘
☆柿沼 光弘
西山 美紗子

Tuba
チューバ

☆竹中 正人

Timpani
ティンパニ

★小野 竜聖

Assistant Conductor
副指揮者

岡本 雄大
松枝 洋二郎

Committee
実行委員会

実行委員長 尾瀬 正行
演奏委員長 石田 美知世
演奏委員 北山 紗恵子
事務局長 大石 妙枝
事務局 WEB担当 藤江 正和
設立準備委員 本多 麻子

Supporter

ご協力ありがとうございます

ステージマネージャー
生田 愛 様
森本 真吾 様
チラシデザイン
前田 章二 様
パンフレット印刷
(株)スペース工房 様
写真撮影
(株)上原フォートスタジオ 様

★ プリンシパル
☆ パートトップ
※ エキストラ

次回演奏会のお知らせ

2025 年 9 月 7 日 (日) 14:00
栗東芸術文化会館さくら大ホール

ブルックナー
交響曲第 4 番変ホ長調「ロマンティック」他

第 2 回プロジェクト始動！
参加者を募集しています



<https://babo.jp/>
info@babo.jp

ご来場アンケート

